

**平成30年度関東高等学校選抜バドミントン大会**  
**兼 第47回全国高等学校選抜バドミントン大会関東地区予選会**  
**実 施 要 項**

- 1 主 催 関東バドミントン連盟・関東高等学校体育連盟
- 2 主 管 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部・栃木県バドミントン協会
- 3 後 援 栃木県教育委員会 (公財) 栃木県体育協会 宇都宮市教育委員会 下野新聞社
- 4 大会日程 監督会議 平成30年12月22日(土) 15時00分から  
競技(学校対抗・個人対抗) 平成30年12月23日(日) 9時30分から  
競技(個人対抗) 平成30年12月24日(月) 9時30分から  
表彰 各種目の競技終了後
- 5 会 場 ブレックスアリーナ宇都宮(宇都宮市体育館)  
〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5-6-18  
TEL: 028-663-1611  
  
\*監督会議は、ブレックスアリーナ内の会議室で行う。
- 6 種 目 学校対抗(男女各団体戦) 個人対抗(男女各シングルス・ダブルス)
- 7 競技規則 本大会実施要項及び平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程による。
- 8 競技方法 (1) 学校対抗(団体戦)  
ア トーナメント戦方式による。場合により、代表・順位決定を行う。  
イ 試合順序は複1・複2・単1・単2・単3で実施する。  
ただし、単1は複1・複2・単2・単3と兼ねることは出来ない。  
ウ 1対抗戦3マッチ先取とする。  
(2) 個人対抗(個人戦)  
ア シングルスおよびダブルスを行う。  
イ トーナメント方式による。
- 9 使用器具 現行の(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び平成30年度第1種検定合格水鳥球を使用する。使用するシャトルは、次の銘柄とする。  
ヨネックス(トーナメント) ゴーセン(ネオ・フェザー・プラチナ) ビクター(マスターエース)
- 10 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在学する生徒で、各都県高等学校体育連盟に加盟し、各都県予選会を経て代表権を得た者。  
ア 学校対抗は各県(群馬・栃木・千葉・山梨)男女2校ずつとする。  
イ 個人対抗は各都県、男女シングルス・ダブルスも2名・2組ずつとする。  
(2) (公財)日本バドミントン協会に平成30年度登録完了済みの者。  
(3) 年齢は平成12年4月2日以降に生まれ、1・2年生に在学するものとする。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(4) 全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住等やむを得ない場合は、当該都県の高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。

- (7) 参加する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
  - ア 上記 10 (1)、(2) に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
  - イ 上記 10 (3) 但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。
- (9) 大会参加資格の別途に定める規定
  - ア 学校基本法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
  - イ 以下の条件を具備すること。
    - (ア) 大会参加資格を認める条件
      - ① 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重する。
      - ② 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
      - ③ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場がみとめられ、関東大会への出場条件が満たされていること。
      - ④ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
    - (イ) 大会参加に際し守るべき条件
      - ① 関東高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
      - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
      - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 11 参加制限
  - (1) 学校対抗（団体戦）
    - チーム編成は、1チーム監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名（同一校選手）とする。又、選手5名を欠いた場合はチームとして認めない。
  - (2) 個人対抗（個人戦）
    - シングルス・ダブルスとも監督1名のみとし、ダブルスの選手は同一校選手とする。
  - (3) 外国人留学生
    - ア 学校対抗（団体戦）
      - 申込みは2名以内とし、1対抗戦の出場は、その出場人数（1名又は2名）に関わらず、1試合とする。
    - イ 個人対抗（個人戦）
      - 各都県、男・女、各々シングルス1名・ダブルス1組までとする。

- 12 引率監督
  - (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。
  - (2) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人対抗の場合は校長の認める学校の職員とする。
  - (3) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。

- 13 表彰
  - 学校対抗・個人対抗ともに1位～3位まで表彰する。
  - なお、男女とも、学校対抗上位3チーム、個人対抗（シングルス・ダブルス）上位4名・4組は、平成31年3月に開催される、第47回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会に出場することが出来る。但し、下記条件による。

- (1) 学校対抗（団体戦）  
男女とも同一県からの2チームは選出しない。  
同一県から出場の2校が共に準決勝に進出し、どちらかが決勝に進出した場合は、代表決定は行わない。なお、準決勝進出校が2県4校の場合は、代表決定を行う。
- (2) 外国人留学生  
関東ブロックより、男女、各々シングルス1名・ダブルス1組までとする。

14 参加料 学校対抗 1チーム 20,000円  
個人対抗 1人1種目 2,100円

- 15 申し込み (1) 参加校は参加申込書を、「栃木県高等学校体育連盟バドミントン部」のホームページからダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記メールアドレスへ11月22日（木）迄にメール送信すること。  
また、プリントアウトした大会参加申込書（正1通・副1通）に押印して各都県委員長に提出すること。

『栃木県高等学校体育連盟バドミントン部』

<http://www.tochigi-koutairen.jp/html/hp-badminton.html>

『栃木県高体連バドミントン専門部事務局』

[toytoitoy@space.ocn.ne.jp](mailto:toytoitoy@space.ocn.ne.jp)

- (2) 各都県委員長は、平成30年11月30日（金）の専門委員長会議に各都県一括して大会参加申込書ならびに参加料を申し込むこと。

- ア 学校対抗の監督・コーチ・マネージャー・選手変更及び、個人対抗の監督変更は、所定の用紙を使用し、平成30年12月22日（土）14時から14時30分までに「受付」に提出する。但し、追加は認めず、選手変更は病気、事故等によるものとする。
- イ 個人対抗申し込み後の選手変更は、いかなる場合も認めない。
- ウ <個人情報取り扱いに関して>  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照下さい。）

16 組合せ 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部が指名した競技役員長（レフェリー）の指示の下、本専門部役員との間で厳正に執り行う。

- 17 競技上の注意
- (1) 試合はタイムテーブルに基づき流し込みで行うが、連続する試合は時間を空けるので進行の指示に従うこと。試合進行状況によっては、試合開始時刻やコートの変更、コートを並行することもあるので、放送に従うこと。
- (2) オーダーの提出は試合開始前に放送で指示をする。放送後、速やかにオーダー交換所に集合すること。
- (3) 集合は放送にて指示をする。放送後、速やかに直接コートに集合すること。ベンチサイドは主審に向かって左側を先番チームとする。
- (4) 試合前の練習は、学校対抗・個人対抗とも試合ごとに両校同時に2分間とする。ただし、個人対抗シングルスについては、対戦相手と練習すること。
- (5) 試合が連続する場合、学校対抗については20分以上、個人対抗については15分以上のインターバルを与える。
- (6) 今大会はマッチ中の給水を条件付きで認める。  
ア 容器は倒れてもこぼれない蓋付の容器を使用すること。  
イ 容器入れを設置（主審の横）してあるので、その中に入れること。
- (7) クーラーボックスのフロアー内持ち込みは禁止する。
- (8) 氷嚢の使用はインターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。

- 18 審判上の注意
- (1) 各試合とも、準決勝以降はサービスジャッジをつける。その他の試合は原則としてサービスジャッジはつけない。
  - (2) マッチ中、シャトルがインプレーでない時のみ、プレーヤーはコーチからアドバイスを受けることができる。
  - (3) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、又、ゲーム中どちらかのスコアが最初に11点になったとき60秒を超えないインターバルを認める。競技区域に入れる監督・コーチ等は同時に2名までとするが、主審の「20秒」のコールで競技区域から離れること。
  - (4) 審判の判定に『抗議』や『異議』は一切認めない。その判定に従わない時はその試合を放棄したものとみなす。
- 19 その他
- (1) 宿泊については『宿泊要項』を参照のこと。宿泊場所が決定次第各校に連絡する。
  - (2) 学校対抗の表彰は試合直後そのコートで行い、個人対抗については12月24日(月)の競技終了直後に行う。
  - (3) 競技時の服装は、色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
  - (4) 上衣の背面中央に必ず、高等学校名及び都県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。【上段—学校名(やや大きく)、下段—都県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とする。
  - (5) 練習は、12月22日(土)12時から15時まで、『ブレックスアリーナ宇都宮』で行うことができる。練習コートは都県別に割り振るので、各校で譲り合って練習すること。
  - (6) 受付は全て会場内の『受付』で行うこと。
    - <12月22日(土)>  
学校対抗出場校は13時00分から14時30分までに受付を済ませ、指定のシャトル(ケースに学校名を記入)を1ダース提出する。また、翌日のオーダー用紙・プログラム等を受け取る。  
個人対抗出場者は任意とする。
    - <12月23日(日)>  
個人対抗ダブルス出場者・学校対抗出場校は来場後、直ちに受付をする。
    - <12月24日(月)>  
個人対抗シングルス出場者は9時10分までに受付をする。
  - (7) プログラムは、学校対抗各校4部・個人対抗各校2部を無料とする。
  - (8) プログラムのミスプリントの訂正については、受付後すぐに所定の用紙を会場内の『受付』に提出すること。
  - (9) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は保険証を持参すること。
  - (10) 飲食物・ゴミ等の後始末は、各校の責任で行うこと。
  - (11) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。
  - (12) 会場内のロビー等での練習は禁止する。アリーナ内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。
  - (13) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。